

温泉成分表

温泉地名	立岩海底温泉
利用施設名	ホテルサンリゾート庄内
採水位置	鶴岡市由良3-17-21
泉質	ナトリウム・カルシウム-硫酸塩・塩化物温泉(低張性アルカリ性高温泉)
源泉の温度	45.2°C
供用場所での温度	42.0°C
温度	41.5°C(分析時の温度)
蒸発残留物	3,404mg./kg
水素イオン濃度(Ph)	8.3

試料1kg中の成分の分量

(1)陽イオン	ミリグラム(mg)	(2)陰イオン	ミリグラム(mg)
リチウムイオン(Li+)	0.1	フッ素イオン(F-)	0.9
ナトリウムイオン(Na+)	831.0	塩素イオン(Cl-)	741.5
カリウムイオン(K+)	2.2	臭素イオン(Br-)	2.8
カルシウムイオン(Ca2+)	296.5	ヨウ素イオン(I-)	0.6
マグネシウムイオン(Mg2+)	0.9	硫酸イオン(SO42-)	1435
炭酸水素イオン(HCO3-)	16.2		
炭酸イオン(CO32-)	0.3		

(3)遊離成分		(4)その他の微量成分	mg/kg
①非遊離成分	ミリグラム(mg)	ヒ素(As)	0.01未満
メタケイ酸(H2SiO3)	38.3	総水銀(Hg)	0.0005未満
メタホウ酸(HBO2)	1.8	銅(Cu)	0.01未満
		鉛(Pb)	0.01未満
②溶存ガス成分	ミリグラム(mg)	カドミウム(Cd)	0.01未満
遊離二酸化炭素(CO2)	0.1	鉄(II)イオン(Fe2+)	0.03
遊離硫化水素(H2S)	0.1未満	マンガンイオン(Mn2+)	0.02
		亜鉛イオン(Zn2+)	0.01
		アルミニウムイオン(Al3+)	0.06

適応症及び禁忌

(1)適応症 (温泉が効く疾患及び症状)

動脈硬化症、きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節こわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進

(2)禁忌症(入浴を控えた方がよい疾患及び症状)

急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(特に初期と末期)

入浴の心得

- 温泉療養の場合は、1日当たりの入浴回数を初め数日間は1回程度とし、その後2ないし3回まで増やしてください。
- 温泉療養は、2ないし3週間にわたるのが適当です。
- 数日後、湯あたり(湯さわ)が現れた場合は、入浴を中止したり回数を減らし回復を待ってください。
- 入浴する場合は、次のことに十分注意をしてください。
 - 入浴時間は、初め3分から10分程度とし、慣れるにしたがい延長する。
 - 入浴中は、運動浴を除き一般に安静にする。
 - 入浴後は、身体に付着した温泉成分は洗い流さない。(ただし、湯ただれを起こしやすい人は、真水で洗うか拭き取る。)
 - 入浴後は、湯冷めに注意し、一定時間安静にする。
 - 高度の動脈硬化症、高血圧症及び心臓病の場合は、原則として高温浴(温度42°C以上)は避ける。
 - 熱い湯に急に入るとめまい等を起こす恐れがある。
 - 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避ける。